

光市医師会報

昭和56年10月発行

No. 109



ミヤコドリ (島田川河口にて)

光市医師会

医師会月間行事

◎定例理事会

9月8日 (火) 7・00 PM

光市医師会館

○光市立病院の増改築の件について協議会

市側出席者

水木助役 小山病院事務局長

1. 6月9日第1回の協議会を開催し9月8日まで3ヶ月経過している、3ヶ月間市よりの要請がないので別に本件に対して討議していない。
2. 本日は8月26日助役より要望があったので、第2回の協議会を開くこととした。
3. 助役より市立病院の増改築について理解 了解を得たい旨の発言があった
4. 国の起債の関係上、日時に制約がある。但し医師会の了解を得て、結論を得た上で手続きを行いたい。
5. マスタープランは未だ固定しており先へ進んでいない。
6. 事務局長より、将来の光市の人口動態と出生数の推計について説明があった。
7. 病院特別委員会の構成に若干の異動があった。8月末特別委員会があり、医師会とは協議中の旨答える。
8. 7月末に静岡県等2ヶ所の病院を視察した。市立病院の増改築と関連して研修、勉強が目的である。
9. 助役の理解了解事項について、つっ

こんだ討議を行った。

10. 伊藤理事より将来の病院経営の予測についての発言があった。

11. 引き続き近い将来第3回会合をもつことを決定した。

○報告事項

1. 老人健診、循環器健診の受託について
2. 呼吸器疾患調査集計について
岡山大学出帳等について
3. 養護教諭研修会 学校保健講演会実施予定について
4. 医療費通知の内容について
5. 産業医報酬の取扱いについて

○協議事項

1. 9月22日 (火)
県医役員の光市医師会訪問について
2. 光市医師会運動会 永年勤続表彰の件について
10月を予定し担当理事で検討
3. 事務員採用の件
武田薬品工場長より一名推薦を受けたが、自動車免許がないので不相当と考え引き続き縁故を主体として検討交渉することとした。
4. 気管穿刺器の医師会負担金及び自己負担金の取扱いについて

◎定例月例会並に県医師会役員との懇談会

9月22日 (火) 7・00 PM

浅江 松原屋

県医師会出席者

阿武医師会長 売豆紀副会長 平田専
務理事 藤野理事 山口理事 山下広
報委員 県医師会事務局長

光市医師会員より事前に提出されてい
た11項目の質問事項について、臨調
処方箋 自由開業医制度 保険医協会
今回の診療報酬点数改正 税務署 広域

集配 12月29日30日の休日加算 卒後教
育

医師会の政治活動等盛沢山の事項に関
して実には的確に要領よく御解答と質議応
答がなされました。阿武新会長初の郡市
医師会訪問でしたが自信と熱意が感じら
れ有意義なミーティングでした。

下松・光医師会対抗ゴルフコンペ

10年近く続いている下松（松医会）、光
（緑友会）の対抗ゴルフコンペが9月27日
周南カントリークラブで行われた。

あいにく学校の運動会や歯科の野球大会
にかちあって出席が少なかったが、それ
でも21名の出席を得て快晴の下、腕を競い合
った。

優勝は 光市立病院 光武先生

準優勝は 下松記念病院 荻野先生

団体優勝は、上位5人のネット総計で、
下松386対光393 6点差で下松優勝。

ここ数年 団体戦は下松に持っていかれ
たまま、高令の下松 小林先生のフライト
に負けぬよう、来年は是非共勝ちたいもの
である。

(幹事 富恵)

NAME	Out	in	Gross	H' cap	Net	Rauk
森 本	49	48	97	18	79	7
河 内 山	63	64	127	24	103	BB
福 本	77	85	162	36	126	メーカー
儀 本	47	45	92	12	80	8
高 橋	57	56	113	28	85	13
大 野	54	62	116	15	101	18
光 武	45	43	88	20	68	優 勝
富 恵	53	55	108	27	81	9
野 見 山	53	53	106	20	86	14
村 上	63	65	128	27	101	19
西 辻	43	42	85	8	77	3
水 津	50	55	105	22	83	10
武 居	51	55	106	22	84	12
磯 村	66	61	127	36	91	17
荻 野	44	44	88	15	73	準 優 勝
小 林	52	49	101	22	79	5
藤 原	53	53	106	27	79	6
玉 重	55	52	107	20	87	15
藤 岡	51	60	111	27	84	11
市 原	50	48	98	20	78	4
重 岡	61	60	121	30	91	16

島田川河口の鳥

伊藤 慶二

Birding とか、バードウォッチングとか云って、都会ではスポーツ用品のデパートでは、ワンコーナを占めている程最近では同好の人がいるようですが、野鳥と云うとまだまだごく僅かな人だけしか関心がないようです。私達の環境から次第に自然が失われているこの頃、自然の中の鳥と遊ぶのも又優雅だと思うのですが。

島田川河口は御存知の通り野鳥の宝庫と云うか、数の上でも沢山ですが又珍しい鳥がくることも多くて、人を飽きさせない楽しい場所です。干潮の時は当然のことながら数も種類も多く、よく見ていると大中小と種類も豊富ですが、満潮でも西岸海中の中州にはきれいな銀色の群鳥が眼を楽しませてくれたりします。

野鳥の会の方々の調査では、年間88種の鳥が観察されています。

表紙のミヤコドリは10月～12月頃に渡り越冬すのではないかと云われている珍しい渡り鳥です。クチバンはきれいな赤からオレンジ色で、頭、背面、胸は黒く腹は白い。チドリ科に近縁の鳥で全身45cm位。但し、伊勢物語や東京都の都鳥と云われているミヤコドリはこの鳥でなくてカモメ科のユリカモメである。勿論ユリカモメ君もこれから河口でよく見られます。

表紙の写真は、フクダ電子やニコンその他医療機械代理店の広島猪原商会の本正君の腕を借りました。

島田川河口はいついつでも鳥が楽しませ

てくれる場所ですけど、川幅は200m位あるので、どうしても10倍位の双眼鏡で明るくいいのが愜しいところです。数多く見られるのは干潮から満潮にかけての時間のようです

東岸の方が中州に近いので鳥を近くで見られる利点がありますが、西岸も海の方に中州があって面白いし、西がいいか東がいいか判りません。お暇の折には双眼鏡持っておためし下さいませ。

あとがき

外は秋には強すぎるような明るい日差し快晴の秋空が続く今日この頃ですが、われわれ医師を取り巻く環境は激しい冬を思わせる薄気味悪い予告が次第に姿を現わしてきております。医者的好景気の時の武見会長は立派でしたが、今は政治力不在の頼りにならない分裂日医です。わが光市医師会は開業医と勤務医とを問わず今後どのような医療形態をとるのがいいか、話し合う機会はないものでしょうか、よかった時代のことは夢と置いて。

(伊藤)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社